学校番号	319

令和３年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	現代高等保健体育　（ 大修館書店 出版 ）						
副教材等	現代高等保健体育ノート　（ 大修館書店 出版 ）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・わが国の疾病構造や社会の変化に対応し、健康を保持増進するために必要な考え方を理解し自ら健康な生活を過ごせる基礎的な考え方を身に着けよう。

・身近におきる様々な健康に関する問題に関して、適切な行動が取れるよう実践しよう。

２　学習の到達目標

・身近に起こる様々な健康問題に対して、適切な意思決定・行動選択が取れるようになる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:知識・理解
観点の趣旨	現代社会における健康問題、実生活と健康についての関心を持ち、環境を改善していくことの重要性を理解し、意欲的に学習に取り組もうとする。	現代社会における様々な健康問題を総合的に捉え、知識を活用した学習内容などにより、適切な判断とそれを表現することができる。	生涯にわたって自らの健康を適切に管理し、健康問題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。
評価方法	・受講状況観察 ・アンケート	・ワークシート ・チェックシート ・期末考査	・ワークシート ・チェックシート ・期末考査

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
1学期	現代社会と健康	私たちの健康のすがた 健康のとらえ方 健康と意思決定・行動選択 保健に関する環境づくり 生活習慣病とその予防 食事と健康 運動と健康	○	○	○	a:国民の健康水準と疾病構造の変化、健康の考え方と成り立ちについて、調べ学習などを通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 健康に関する意思決定や行動選択、生活習慣病などの課題解決に向けての話し合いや意見交換などに積極的に取り組んでいる。 b: 国民の健康水準と疾病構造の変化、健康の考え方と成り立ちについて、整理したりするなどそれらを説明している。 健康に関する意思決定や行動選択、生活習慣病などの課題解決について、比較や分析したりするなどしている。 c:健康の考え方が社会の変化に伴って変わってきていること、主体と環境の相互作用によって成り立っており、それに伴う意思決定や行動選択について、理解したり発言したりしている。	受講状況観察 アンケート ワークシート チェックシート 期末考査

2学期	現代社会と健康	休養・睡眠と健康 喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康 現代の感染症 感染症の予防 性感染症・エイズとその予防 欲求と適応機制 心身の相関とストレス ストレスへの対処 心の健康と自己実現	○	○	○	a:休養・睡眠、喫煙、飲酒と健康、薬物乱用と健康、感染症とその予防についての話し合いや学習活動に意欲的に取り組んでいる。 欲求と適応機制、心身の相関、ストレスの対処、自己実現についてのグループワークや意見交換に積極的に取り組んでいる。 b: 休養・睡眠、喫煙、飲酒と健康、薬物乱用と健康、感染症とその予防について、分析したり、道筋を立てて説明したりしようとしている。 欲求と適応機制、心身の相関、ストレスの対処、自己実現について、評価・検討し自己で判断し説明しようとしている。 c:喫煙と飲酒は、生活習慣病の要因になること、薬物乱用は心身の健康問題や社会的な影響が大きいことから、絶対にやってはならないことなどを理解したり発言したりしている。 人間の欲求や適応機制には様々な種類があること、精神と身体には密接な関係があることを理解し、発言したりしている。	受講状況観察 アンケート ワークシート チェックシート 期末考査

3学期	現代社会と健康	交通事故の現状と要因 交通社会における運転者の資質と責任 安全な交通社会づくり 応急手当の意義とその基本 心配蘇生法 日常的な応急手当	○	○	○	a:交通安全の現状、安全な社会づくりについてのグループワークや意見交換に意欲的に参加している。 応急手当の意義や日常的な応急手当、心肺蘇生法の実習に積極的に参加している。 b: :交通安全の現状、安全な社会づくりについて分析したり、道筋を立てて説明したりしようとしている。 応急手当の意義や日常的な応急手当、心肺蘇生法について道筋を立てて説明したりしようとしている。 c:交通事故を防止するために必要な車両の特性の理解や安全な運転や歩行など適切な行動を理解し、発言したり記述したりしている。 適切な応急手当をすることによって悪化を軽減できることや心肺蘇生法について正しく理解し、発言および記述できる。	受講状況観察 アンケート ワークシート チェックシート 期末考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断
　　c:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。